

## 第10回天気予報研究会の開催および開催日変更のお知らせ

第10回天気予報研究会を下記要領で開催します。入場は無料です。講演要旨などについては気象学会の天気予報研究連絡会のホームページに掲載する予定です。

なお、開催日が「天気」59巻7号では、2月15日となっていますが、2月22日に変更になりましたのでご注意ください。

**日時：**2013年2月22日（金）13時30分～17時30分

**場所：**気象庁講堂（気象庁2階）

**発表題目（順不同）：**

[特別講演]

「極端現象時の防災情報とは」

山本孝二（(株)ハレックス・元気象庁長官）

[講演]

1. 「見出しのみの短文で伝える気象情報の発表について」

高橋賢一（気象庁予報部予報課気象防災推進室）

2. 「局地モデルの高度化について」

松林健吾（気象庁予報部数値予報課）

3. 「気象庁における降水監視・予測の精度向上の取り組み」

平原 淳（気象庁観測部観測課  
観測システム運用室）

4. 「気象情報の伝達」

南 利幸（(株)南気象予報士事務所 代表）

5. 「音声だけで生命と財産を守るには」

伊藤みゆき（NHK ラジオ気象キャスター）

6. 「地方公共団体の防災気象情報の活用方法について」

金森史郎（東京都建設局）

7. 「学校現場における気象情報の利活用」

藤井 聡（日本気象予報士会静岡支部）

8. 「気象情報の提供や天気予報の方法に関する一考察（まとめ）」

道本光一郎（防衛大学校）、  
岩田将基・鈴木智幸（航空自衛隊）

**主催：**日本気象学会天気予報研究連絡会

**問い合わせ先：**下山紀夫（日本気象予報士会）

n-shimoyama@nifty.com

**URL：**<http://www.metsoc.or.jp/LINK/tenki/weather.html>